

## オックスフォード大学 アレックス・ニコラス教授招聘研究会【通訳付き】

### Workshop on Social Impact Bonds (SIBs) in Kyoto (SIB ワークショップ・イン 京都)

11月28日(月) 15:00-17:40, 於・立命館大学(京都)のご案内

#### ■開催の目的

近年、ソーシャル・ファイナンスやインパクト投資の新潮流として、英国を中心に、世界的にソーシャルインパクト・ボンド (social impact bond : SIB) の開発・普及が推進されています。

本ワークショップは、ソーシャル・ファイナンス、ソーシャル・イノベーション、フェアトレード分野の研究で世界的に著名なアレックス・ニコラス教授(オックスフォード大学サイド・ビジネス・スクール)を講演者として英国からお招きし、英国のSIB事例を中心に最新の動向と、SIBの社会課題解決や公共サービス改革への含意、課題について理解を深めること目的に開催します。講演を踏まえ、フロアとの間で意見交換を行う予定です。

#### 【講師紹介】アレックス・ニコラス教授 (Professor Alex Nicholls)

オックスフォード大学サイド・ビジネス・スクールでソーシャル・アントレプレナーシップやソーシャル・イノベーションの研究に携わる。ソーシャル・アントレプレナーシップ、ソーシャルインパクト・ボンド等のインパクト投資、フェアトレード等が主な研究テーマ。

*Social Finance*(Oxford University Press, 2015)(共著), *Social Entrepreneurship*(Oxford University Press, 2006), *Fair Trade*(Sage, 2005)(共著) など著書多数



SIB  
とは

SIBは、若年無業、子供の貧困対策、高齢者の健康改善等、社会的プログラムの運営資金を公財政からではなく、民間投資資金から調達し、成果(アウトカム)指標を共有する投資家、サービス実施団体(NPO、社会的企業等)、政府(国、自治体)、中間支援組織等が、介入・予防サービスを実施する公民連携スキーム。金融の仕組みを活用しつつアウトカム改善と財政支出の適正化を同時にめざすスキームで、インパクト評価により目標水準の達成が認められると、政府から投資家に対し一定のリターンが支払われる。アウトカム(成果)ベースの公契約システムでPbR(Payment by Results)の一種

\*文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インパクト投資活用による社会的企業の公共サービス改善効果に関する研究」(研究代表 明治大学塚本一郎教授)の一環として、立命館大学の森利博教授のご厚意により同大学で開催されます。

#### ワークショップ概要・申し込み方法等

■開催日時: 11月28日(月) 15:00-17:40(14:30受付開始)

■会場: 立命館大学朱雀キャンパス1階「多目的室1」

<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/suzaku/>

(JR・地下鉄 京都駅からJRにて約10分、「二条駅」下車、徒歩約2分  
京都市営烏丸線にて約5分、「烏丸御池駅」で京都市営東西線に乗り換え、「二条駅」下車、徒歩2分)

■参加費: 無料 ■定員: 50名(先着順で定員に達し次第締め切り)

■申し込み方法: 「ワークショップイン京都申し込み」と件名記載の上、「氏名」「所属」「連絡先メールアドレス」を明記し、下記メールアドレス宛にお申込みください。

E-mail: [inpms@meiji.ac.jp](mailto:inpms@meiji.ac.jp) (非営利・公共経営研究所)



【主催】明治大学非営利・公共経営研究所 【協力】立命館大学 森利博教授, (株)公共経営・社会戦略研究所